

全東京写真連盟
撮影会写真コンクール
入賞作品集



審査対象 臨海副都心モデル撮影会

撮影日 2021年10月10日

審査日 2021年12月11日

審査員: HARUKI 先生



金賞
「少女のリアル」
小倉 良二 様
モデル 堀口桜子

審査員：HARUKI先生 講評

まるでプライベート空間で過ごす一人の女性のドキュメントを追うかのようなアプローチをされたのでしょうか。例えばそれが良く知っていても、フッとした何気ない仕草や動きの中にいつもと違う表情を一瞬だけ垣間見ることがあります。人物写真において顔にこの写真はドキュメントタッチの手法による試みだと言えます。この1カットには少し虚ろな目の表情が映し出されています。ちょうど口の部分が腕によって遮られて見えにくいのが残念でなりません。右腕がもう少し下で口元が見たかった、。しかしながら、こういったアプローチはとても新鮮です。撮影会において秀逸な作品を生み出すためには他の人とは別の抜きん出た表現をしていくことが大切なのです。



銀賞
「夢ごこち」
小幡 大輔 様
モデル 福田晴香

審査員：HARUKI先生 講評

いったい何なんでしょうか、この写真は！！って怒っているわけではございません。青海南埠頭公園での撮影だとわかってはいるのですが、そこら辺のプライベートスペースで撮影したかのような寛ぎ加減、それでいてモデルさんの表情とポーズが“無垢な色気”を感じてしまいました。つまり「ボクもこんな写真、撮ってみたかった！」という選者の嫉妬心を仰ぐようなステキな作品となりました（笑）。一つ残念だったのは背景が若干煩いので、カメラアングルをもう少し下げてモデルさんの後方をシンプルに処理しても良かったですね☆



銅賞
「想い」
内藤 勝之 様
モデル 池内リナ

審査員：HARUKI先生 講評

こちらのステキなモデルさんを撮影した作品はとても人気でたくさん見かけます。しかしどのカメラマンさんの写真も同じような角度やポーズばかり応募されるのでパターンが似ているので選びきれないことが多いのですが、今回はちよっと違って印象の作品です。撮影会では限られた条件での撮影ですからどうしても似てしまうのは仕方ないですが、その中でもいかにして他人（ひと）とは違った個性を出せるかがカメラマンの技術や表現力なのです。上位入賞おめでとうございます☆



入選
「秋の気配」
寺島 弘行 様
モデル 福田晴香



入選
「寄り添う」
鵜飼 典彦 様
モデル 杉浦檸檬



入選
「檸檬の瞳」
松岡 達雄 様
モデル 杉浦檸檬



入選
「スポットライト」
小野寺 基之 様
モデル 堀口桜子



入選
「愛しい人」
鈴木 幸彦 様
モデル 彩乃美希



佳作
「こ・み・か・る」
堤 博史 様
モデル 杉浦檸檬



佳作
「晩秋に想う」
石川 玲 様
モデル 福田晴香



佳作
「想いは今も」
荒井 秀雄 様
モデル 池内リナ



佳作
「行進」
河村 徳助 様
モデル 池内リナ



佳作
「振り向いて」
中山 静男 様
モデル 池内リナ



佳作
「フレンドリー」
池田 道政 様
モデル 池内リナ



佳作
「光と影」
金澤 義夫 様
モデル 杉浦檸檬



佳作
「爽やかな日」
漆畑 丈史 様
モデル 杉浦檸檬



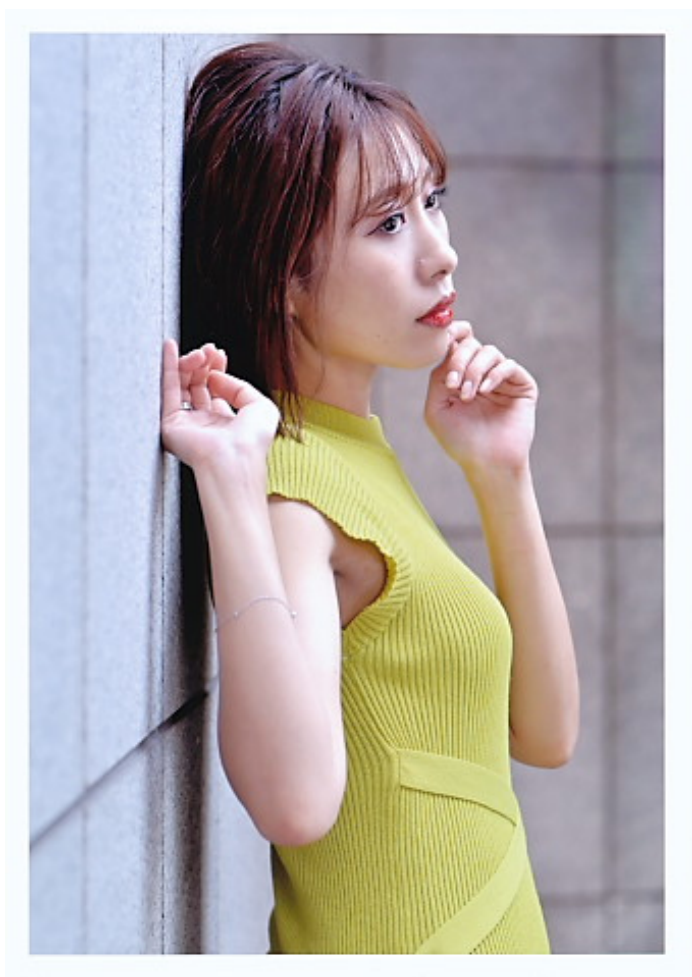
佳作
「蹴っ飛ばせ」
北条 義久 様
モデル 福田晴香



佳作
「実」
三井 直人 様
モデル 美羽希。



次点
「セレブの散歩路」
日向野 遼平 様
モデル 杉浦檸檬



次点
「横顔」
深野 武雄 様
モデル 杏 凜



次点
「水辺のきらめき」
菅原 道久 様
モデル 杉浦檸檬



次点
「Green Sleeves」
湯原 章綱 様
モデル 福田晴香



次点
「釘付け」
高橋 敏之 様
モデル 杉浦檸檬



次点
「ぬくもり」
芝本 勲 様
モデル 福田晴香



次点
「秋色のおとずれ」
滝本 憲一郎 様
モデル 美羽希。



次点
「ボーイッシュ」
中牟田 剛 様
モデル 池内リナ



次点
「噴水ダンス」
五島 隆夫 様
モデル 福田晴香



次点
「僕の衝動」
星野 祐一 様
モデル 杉浦檸檬